

たけた

市議会だより

No.10

発行 平成19年11月1日

編集 市議会だより編集委員会 ☎0974-63-4813 印刷 尚岡鶴堂印刷所



「元気な竹田っ子シリーズ」
早くおいしいお米を食べたいね! (直入幼稚園)



地球「人」に
やさしい運転を!!

今年9月末現在、全国で交通事故の死亡者数が、4千人と昨年に比べ減少している。昨年、福岡市で起きた飲酒運転事故により、飲酒運転は、「しない・させない・飲んだらおれん」という気運が高くなったにも拘わらず、飲酒運転をする者が後を絶たない。反則金も100万円になった。

この頃大きな声で「チガウ」と叫びたくなる事が多い。狭い道路で車の離合をする時少し広い場所でも車を止め待っているのに、離合する対向車は「手を挙げる・会釈をする・警笛を鳴らす」など感謝の気持ちを表すこともなく相手が待つのが当たり前のように走り去って行く運転者が多い。お互いに思いやりと感謝の気持ちを表し、それを受け入れることで心さわやかになり運転にも余裕がでて交通安全にもつながると考える。人にも、地球にも、車にも優しい感謝の心で運転を!! 森哲秀



視察研修報告

議会運営委員会委員長 吉 竹 悟

議会の各委員会再編成後、議会運営委員会の研修を宮崎県日南市で行った。

②議会改革について

日南市議会では、議長の諮問機関として議会改革等調査研究会を平成16年6月に立ち上げている。

地方分権社会に適應する機能の強化、執行機能に対する監視・牽制・批判機能の重要性が高まり、従来の議会・議員のあり方でよいのか大きく問われる中、議会として本来持つべき機能が万全であり、住民の付託に答えられる議会づくりを行うため、その議論の場となる議会改革等調査研究会を設置した。

委員は、副議長及び各会派1名で構成され、期間は概ね1年間とし4つの検討項目を挙げている。

- 1、議会の組織・構成について
- 2、議会の機能について
- 3、議会の運営について
- 4、議会の公開及び情報提供について

第1回目の委員会で検討項目を決定し、以来月に1度のペースで研究会を開催、会派でも審

議を重ね研究会へ意見報告を行い、全会一致で賛同を得て答申案を策定している。

第1回(14期)の答申は平成17年5月25日に提出されている。

主な内容は、議会広報誌・議会TV中継・各審議会等への参加について・陳情の処理について・一般質問の運営について・旅費の取り扱いについて・議員定数問題について・常任委員会についてとなっている。

議会広報誌については、議会だよりの発刊はない。
竹田市は既に取り組みをして



議会運営委員会の研修風景

各審議会への参加については、任期が来た段階で参加を辞退することを原則とし、ボランティア的な審議会は積極的に参加をする。

議員定数については、日南市議会では次の一般選挙から26名を22名とし、委員会の数は次期議会でも検討する。

☆竹田市議会では、議会活性化・改革委員会で既に検討をしている。

日南市議会では、市民の様々な意見があるが、研究会で類似団体の状況・面積・人口等の要素を判断材料として協議を行い、結果、22名とした。

現在、竹田市議会でも議会改革検討項目14案件を掲げ、会派ごとに意見を集約し協議を行っている。

項目の1番に議員定数問題を挙げている。
竹田市議会では、より開かれた分かりやすい議会を目指して、議会の機能を更に充実する必要があると思う。

今回の研修で議会運営の見直しを含め、個々の議員の活動がより向上し市民の皆さんの付託に応えられるよう、研鑽を積み重ねなければならぬことを痛感した。

議会運営委員会の委員長として慎重なる審議が出来るよう努力をしてまいります。

建設常任委員会 委員長 和田 幸生

建設委員会では、8月6日から8月9日まで、山形県上山市と寒河江市を訪問した。

上山市では武家屋敷通りの整備事業について視察をした。
人口は、約3万6千人で上山城を中心とした城下町。武家屋敷が4軒連なり、現在も住んでいるのは全国でも珍しい。
現在のように保存されたのは、

住民側から「歴史を感じる武家屋敷にふさわしい道路にしてほしい」との要望から武家屋敷通り整備委員会を設立し、大学の先生(都市計画)からアドバイスを受け、計画を策定。

カラー舗装と石畳を組み合わせ、側溝には清流が流れ、電柱消火栓を移設し、水琴窟を設置するなど、随所にこだわりが見



上山市：城下町にふさわしい景観づくり(ブロック塀を黒板塀に作り変える)



最上川ふるさと総合公園で説明を受ける一行

事業主体は上山市。平成15・16年に延長4.67m約9千万円で、平成17年に「国土交通省手づくり郷土賞・地域整備部門賞」に輝いている。

寒河江市では、景観整備事業について視察した。

四方が山に囲まれている寒河江市では、景観づくりに力を注いでいるが、フラワーロードや花いっぱいまちづくり推進のため「花緑・せせらぎ推進課」を平成14年に設置している。

行政主導のまちづくりではなく、市民が主役となつて自分達の地域を見つめ直し、花の植栽維持管理、街路樹の維持管理で都市公園や農村公園等を作っている。

活動では、市民一人一人が自らスコップを握り、汗をかき、景観に配慮したまちづくりを行っている。

特に市民総参加による花いっぱい運動には、市長自らも参加し、官民の連帯感が生まれたと言っている。

両市とも各事業に成功した理由としては、行政と市民が一体化して取り組み、活動したことにあると考える。

竹田市も「自然・歴史・文化を育む名水湯田園観光都市」の実現のため、誰もが住んでよかったと思えるまちづくりを市

民とともに進めていきたい。



三の堰親水公園(寒河江市)で説明を受ける一行

議会活性化・改革委員会委員長 渡 辺 龍太郎

日南市議会改革等調査研究会の取り組みについて

10月1日、2日と日南市議会へ議会活性化や改革についての研修を委員会メンバー7名で行った。

日南市議会の改革等調査研究会は、平成16年6月に発足、17年、18年にそれぞれ議長宛に答申をし、改革を進めてきた。

特に平成17年6月議会では、議員提出議案として「議員定数条例改革案」を提出し（議員定数26名から22名）平成18年1月に、改正後の初選挙を行っている。

現在のメンバーは、副議長と

会派からの代表者で構成されている。こちらから事前に20項目の質問事項を提出し、回答をいただき、午後1時からの意見交換会は、充実した話し合いの中、予定の2時間を越え、時間の延長をお願いし、議論を深めた。

意見交換の場では、議員定数について意見が集中し、市民区長会からの意見や、市民団体からの定数削減に関する意見書の内容等について白熱した議論を交わした。

改革研究会（日南）は、類似市の状況や市財政状況、地域行政面積の比較など基礎資料となるものを分析し、検討を重ね課題の解決にあたってきた。

最終的には、定数に対する正当な根拠があること、そして何よりも必要なのは、議会（議員）自らが答えを出し、実行していくことが重要なことと考え、議員定数条例改正案を提出した。

竹田市議会活性化・改革委員会としても、これらのことに加え、合併協議会で決定された次回定数24名、全選挙区制を尊重しながらも行財政改革の折、市民の皆さんに説明責任が果たせるように早急に検討を重ねていくことを再確認した。

また、議員の審議会委員等への就任についてもお互い同様の意見であり、日南市議会においては、法令上議員の就任が義務

題の解決にあたってきた。最終的には、定数に対する正当な根拠があること、そして何よりも必要なのは、議会（議員）自らが答えを出し、実行していくことが重要なことと考え、議員定数条例改正案を提出した。

付けられているもの、広域で構成するもの、ボランティア的なもの以外の審議会等の委員には就任しないことを原則に、55審議会等委員のうち、24の委員を辞退している。

改革委員会（竹田）も委員就任については、執行機関に対する意見や調査、監視等本来の議会の使命やあり方に支障をきたすものについては好ましくないという考え方で取り組みを進めている。

紙面の関係上、全項目、意見についてお知らせすることができないが、今回の行政視察を快く受託していただいた日南市議会影山議長、豊倉委員長を始めとする研究会委員の皆様感謝申し上げ報告とする。



議会活性化・改革委員会視察研修



県体待望の1勝!

議員ソフト

9月15日、議員ソフトの部で、県体に参加。

公開競技だが、やはり勝ちた。過去2年大分市に惜敗、今年こそと急ぎから練習開始。

1回戦は強豪白杵市、投打に勝利5対3で、県体待望の初の1勝。2回戦は優勝候補の豊後大野市。バランスのとれた最強のチームで、我が方もエース

第60回県民体育大会
議員ソフト部
議員陸上
大健闘!

議員
ふんとう記



一般質問

平成19年第3回定例会は、9月6日から9月28日までの23日間の日程で開かれました。9月11日、12日の2日間、8人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は議員本人が執筆しています。



吉竹 悟 議員

財政について

吉竹 厳しい状況が続く、市民には「痛み」が先行している。行革は総論では必要だが、行政側も更なる改善が必要。

前年度決算見込み、本年度下半期の予算動向、交付税の状況、基金の状況を伺う。

一般会計から繰り出している公営企業会計・特別会計の状況はどうか。

財政課長 決算見込みは、実質半年度収支が2億4,698万4,000円、経常収支比率は99・9%で借金残高は232億366万5,000円である。

地方交付税、当初△5・9%予定が、最終的には△3・1%2億5,229万1,000円

の減で79億8,869万7,000円の地方交付税額であった。基金は今年9月議会後の予定額、財政調整基金17億5,486万円、減債基金3億6,715万2,000円の予定。

特別会計12のうち、公営企業会計は健全化を図る。

吉竹 財政状況から、職員の削減が必要ではないか。

40代・50代の平均給与収入はいくらか。市民税課税標準から見た対象者の平均収入は約250万円である。市民の声に「せめて50歳以上の夫婦共働きは無くすべき」とある。しっかりと協議してほしい。

総務課長 退職勧奨制度を実施し、27年の職員目標定数387人を目指す。40歳代平均652万8,977円、50歳代平均727万1,770円である。

福祉政策について

吉竹 敬老会等が消滅の危機にある。介護予防政策として予算

を組むべき。再協議を望む。福祉事務所長 70歳以上、1人600円で本年度予算459万円組んだ。県内8市が実施、6市は無実施。関係事業を積極的に展開していく。



なごやかな茨地域敬老会の様子

災害について

吉竹 激甚災害指定への努力に敬意を表する。同一箇所が何度



台風5号で崩壊した直方町土北地区の災害現場

施行・検査何れかに問題がある。工期を遵守できない業者も問題。厳しい対処が必要。産業建設部長 原因を調査し再発を防ぎ、遅延等契約違反は厳正に対処する。



加藤正義 議員

更なる財政健全化の推進を

加藤 依然厳しい財政状況であり、新たな政策の実施や市民の要望に応えられていない。

財政健全化の早期達成こそ最優先課題。

画一的に10%カットとかでなく、各課の職員全員で予算を見直し、新たな予算書を作成したらいかがか。

財政課長 この2年間は、一律的に歳出10%カットで、一応の成果を収めた。

本年度から、職員が限られた予算を全体の共通認識の下で、部・課別枠配分による予算編成方針とした。

20年度は全職員が財政に対する危機感や予算の共有を図りながら各課枠配分と事業評価制度を活用して経費の節減を図り健全財政を推進する。

を投入し気合いを入れ果敢に挑戦するも13対9の熱戦の末敗退した。さすが準優勝チームだ。選手、応援の皆様大変お疲れ様でした。

議員ソフト監督 足達寛康

議員陸上

9月16日県体議員陸上大会が大分市の九州石油ドームで行われた。

最初に400mリレーが行われ、4名中45才以上が2人出場の条件があり、スタートに吉竹議員、続いて井議員、三走目は佐田議員、アンカーには徳永議員が出場し、6位と健闘した。続いて100m決勝に土居議員が出場し、3位入賞と立派な成果を収めた。

若い議員の足は軽い走りだが45才以上の方は100mが長く感じた様であった。

議員陸上監督 後藤憲幸



3位入賞した土居議員(100m)

温暖化防止への取り組み

加藤 地球温暖化の影響で豪雨、大地震の発生と農業、漁業の被害は甚大。全人類が例外なく影響を受けている。

京都議定書のCO₂削減目標の進捗状況も遅れている。竹田市は環境に恵まれてはいるが、市としての取り組みは、

環境衛生課長 昨年度のCO₂の数値把握が終了すれば、今年度中に「温暖化防止実行計画」を立てる。

また、市民の運動推進のため、「温暖化対策市民会議」を設立する。

加藤 レジ袋は、袋代、処理費用で年間千億円を超えているという。

市民に拡まりつつある「レジ袋減量活動」への支援は、

環境衛生課長 市報などで周知を図り、「マイバック」運動を

広げ、協賛の店舗も拡充したい。

加藤 クリーンエネルギー創出と増収のため、例えば風力、太陽光発電の利用の検討は、

企画情報課長 直入・久住で風



況観測を行ったが、営業可能な風力まで得なかった。

太陽光発電は、費用がかさみ断念している。

加藤 微風や台風にも対応可能な開発もなされている。

初期投資はいるが、半分は国の補助。エネルギーの自給・税収・売電収入や観光面でプラス

が大きい。

企画情報課長 クリーンエネルギー利用は重要であり、「実行計画」の中で検討したい。



荒巻文夫 議員

市営住宅について

荒巻 市営住宅の入居の条件は、

産業建設部長 入居者の収入が、

身体障がい者の場合、26万8,000円を超えないこと。

その他一般の場合、20万円を越えないこと。県民税及び市町村民税を滞納していないこと。

荒巻 住宅内でのトラブルについて伺う。団地内で夜中の1時2時頃騒ぎを起こして周りの人達に迷惑をかけている例がある。

市の対応は、

産業建設部長 入居時に「入居者のしおり」を配付し、環境整備やモラルの徹底をお願いしている。

住民同士で解決できないトラブルについては、事実確認後、原因究明をして、対応策を考え指導する。それでも聞かない場合は、退去をお願いすることになっている。

入居者のしおり



荒巻 市営住宅家賃の滞納状況は、

産業建設部長 市営住宅の家賃滞納状況は、17年度分が38名で33万8千6百50円。18年度



分が61名で56万2千6百950円。19年度が65名で68万3千400円。合計164名で1,584万7,970円。

次に市の職員の滞納は、17年度末で2名、101万2,800円。18年度末2名で64万5,000円。19年度8月末2名25万5,600円。合計191万3,400円だが、現在はずべて納入されている。

荒巻 住宅手当は、どのように支給しているのか。

職員が住宅家賃を滞納しているのに、住宅手当が支給されたのか。

何か月で督促状を出すのか。

総務課長 ①自家所有で世帯主である者に2,500円②借家

家賃月額2万3,000円以下

のとき1万2,000円。5万

5,000円以上支払っている

職員に2万7,000円を支給、17年度で2,801万4,000

0円住宅手当を支給している。総務企画部長 横の連絡が取れず滞納者にも支給していた。

産業建設部長 督促状は、毎月出すのが本意だが、3か月に1度しか出していないかったため、今後改める。

荒巻 上司への報告、職員の教育など徹底して行い、勤務評定制度の導入を考えてもらいたい。



渡辺龍太郎 議員

街なみ環境整備事業について



渡辺 下本町地区重点地区指定の経過は、

産業建設部長 平成18年12月12日に事業計画書が提出されたが、申請に必要な計画書の添付が無

荻保育所と柏原保育所の統合計画が行政主導で進められており、その事について保護者の反対行動があるが如何にお思いか。

市民福祉部長 荻保育所と柏原保育所の統合については、行政改革推進委員会での協議を経て、議会にも昨年2月20日の議員全員協議会で説明し、議員から「地域の理解を求めて進めてほしい。」との要望を戴いている。

しかしながら、保護者を始めとした地元関係者への説明については、本年度に入り、柏原保育所保護者への説明会を初めて開催した。

その時期が遅かったというのが事実であり、1年半余りの空白があり、保護者をはじめ関係者各位に大変申し訳なく思っている。

今後の基本的な考えとしては、「来年4月に統合」の方針は変えることはないが、どうしても保護者の理解が得られなければ、1年間の延長も止むを得ないと考える。

地域高規格道路の今後の取り組みについて

阿部 地域高規格道路の今後の竹田市としての取り組みについて伺う。

産業建設部長 竹田市発展のためには、社会基盤の整備が最大の

課題であり、その中でも、特に中九州横断道路の早期完成が重要だと考えている。

竹田 荻間15キロは現在調査区間になっており整備区間への格上げが喫緊の課題であり熊本県、また、阿蘇市と連携を強力に推し進めて行かなければならないと考える。

阿部 その他台風4号、5号の災害状況確認後の竹田市としての対応について質問した。



建設が進む中九州横断道路(大野東インターチェンジ)



土居昌弘 議員

産業振興に戦略を生む体制を

土居 福島県知事の名刺は、「福島県営業本部長・福島県知事佐藤雄平」。佐賀県武雄市役所には、営業部がある。

産業の育成や誘致を本気で考えている自治体の姿だ。

竹田市は先行地域の経験に学びつつ、独自の戦略による産業振興策に着手し、真剣に取り組んでいかなければならない。

竹田 市も、こういった活動をしていく体制が必要では。

企画情報課長 「自然の恵みを活かし結び合うまちづくり」を目指し、農林業、商業、観光などの基盤整備を進めている。

特に重要なことには、これまでも各部署と連携を取り合って、プロジェクトチームをつくり取り組んでいる。

空き店舗の活用

土居 荻、久住、竹田、直入の商店街では、空き店舗が目立ってきている。

他の自治体では、「空き店舗」は街の「遊休資源」だとし、持ち主が貸しやすき環境を整備し、その資源を宝の山に変えていくとしている。

竹田 市はどうか。

商工観光課長 旧竹田市では過



活用したい空き店舗

去に空き店舗対策事業を実施。19店舗がこの事業を利用し、開店した。効果のある事業だったので、県に再開を要請している。

また、「貸し手」と「借り手」との関係に起こる問題を解決していけるように協議したい。

広報力向上に向けて



「広報たけた」

土居 現在「広報たけた」の編集は、職員が一人でやっている。自治体によっては市報を行政からの「一方的な説明の場」としてではなく、「市民との対話の場」として捉え、市民の情報を汲むべく、編集を市民とともにしているところもある。

今の編集のあり方を変えてみては。

企画情報課長 現在は、市役所内広報担当者など関係者で年間編集方針を決定し、年間の紙面計画を作成。

編集だけを一人がやっている。今後この方法で、愛される市報をつくっていききたい。

土居 今の情報発信の体制を改善し、よりよい広報活動をしていただきたい。



井 英昭 議員

直入荘売却にPFI方式は活用できないか

井 直入荘については、行政は売却の方向性を打ち出したが、地元の住民感情として、売却せずに市の財産として残してほしいとの声が強し。

売却の理由として、主なものに施設の老朽化が進み、建て替えには大きな財源が伴うことが必至とある。

この財源を確保するために



老朽化が進む国民宿舎「直入荘」

PF1方式（民間の資源、経営能力や技術を導入）の活用は考えられるか。

直入総合支所長 直入荘の公共施設としての使命は終えた。

民間でできることは民間でと考える。総合的な見地、行政改革の本旨から考えたとき、売却以外の方針は導き出せないというのが実情で、今後とも関係者の皆さまに売却についてのご理解を頂くべく努力していく。

ケーブルテレビ事業について

井 この事業については、市民の間でも様々な意見があるのは承知していると思うが、民放の地上デジタル放送の県外再送信に対する大臣裁定など最新の動きについて伺う。

企画情報課長 地上デジタル放送の区域外再送信は、民放連が同意しない方針であったが、総務大臣から福岡4局に対し、大



ケーブルテレビ体験会の様子

分のケーブルテレビ局へ再送信をするよう裁定をした。

このことから、竹田市でもケーブルテレビで県外の民放チャンネルを視聴する権利が認められると考えている。

これを受け、市としても市民が視聴できるチャンネルの拡大を目的に県外波を再送信する計画を推進する。

今後、熊本の民放が、福岡の民放のどちらかを再送信するか交渉を行ったうえで決定する。

井 県外の民放チャンネルは基本料金に含まれるのか。追加料金になるのか。

企画情報課長 基本料金では、まず県内波と自主放送のチャンネルが視聴できる。

残りのチャンネル数の関係もあり、全ての県外チャンネルが見られるというわけではないが、基本料金のなかで県外の民放も視聴できるように考えている。

お知らせ

◆本会議を傍聴しませんか

本会議は一般に公開されています。どなたでも傍聴することができます。皆様のお出でをお待ちしています。

なお、常任委員会の傍聴は、委員長の許可が必要となりますので、開会日の前日までに議会事務局へお申し出ください。

※次回定例会は、12月上旬開会予定です。



本議会（一般質問）の様子

◆会議録を公開しています

竹田市議会公式ホームページには、本会議の会議録のほか、議会の概要、議員の紹介、議会日程、請願・陳情の提出方法などを掲載しています。是非ご覧下さい。

◎詳細は、議会事務局までお問い合わせ下さい。☎63-4813

第3回定例会

《主な議案の審議結果》

▽人権擁護委員候補者の推薦について	適任
▽平成19年度竹田市一般会計補正予算(第2号)について	可決
▽平成19年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
▽平成19年度竹田市老人保健特別会計補正予算(第2号)について	可決
▽平成19年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
▽平成19年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
▽竹田市駐輪場条例の制定について	可決
▽竹田市基金条例の一部改正について	可決
▽竹田市立幼稚園設置条例の一部改正について	可決
▽字の区域の変更について	可決
▽市有地の旧慣による使用権の廃止及び売却について	可決
▽平成18年度竹田市水道事業会計決算の認定について	認定
▽平成19年度竹田市一般会計補正予算(第3号)について	可決
▽平成18年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
▽平成18年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
《意見書の審査結果》	
▽有害鳥獣対策の抜本強化を求める意見書	可決
▽道路特定財源制度の堅持に関する意見書	可決

あとがき

▼今年も「猪の被害」は大きかった。これはまさに農家への「テロ行為」である。何か良策は？「自衛隊の派遣申請」はいかがかと、秋の夜、友と酌みかわす「コマ」。新しい内閣、地方への気配りもしてほしいものだ。

(小代一幸)

▼地球環境の変化がもたらす最近の異常気象、日本の四季が織り成す素晴らしい風情が遠のく思いがする。台風4号、5号は大きな爪痕を残して立ち去った。罹災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

(大塚惟敬)

▼爽りの秋を迎えても、暑さは夏のままだ。台風もなく豊作と思いきや、虫の大発生、稲に大打撃。何とも作物を作りづらいことが。夏と冬が長く、春と秋が短くなった。こんな気象条件を頭に入れ植付けをしよう。

(荒巻文夫)

▼この夏も、山桜・モミジの里山で多くの地区民が草刈り。3回目の頃は「踏みわけの萩よすきよ」で人の背丈より高い。あちこち山桜の芯が折れ、ここにもシカの被害が。汗だく後のビールで、地域を語り合う。

(加藤正義)